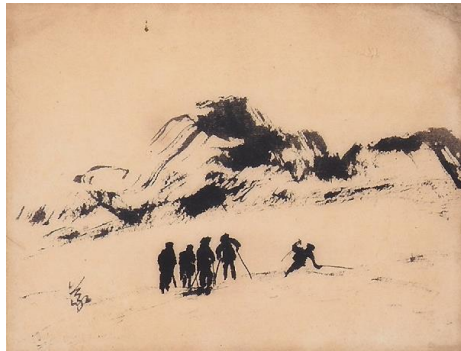


鮎川義介の趣味 墨絵はフ。口級〜ユニークな練習法〜



菜香亭四代目主人 齊藤幸兵衛が早すぎる晩年、福岡の大学病院に入院していたとき見舞いに届けられた雪山スキーの絵

鮎川義介は晩年墨絵を趣味にしました。父の弥八が病床で、「おまえは、仕事ばかりしていておもしろくない。人間は何か一つ趣味、仕事以外の道楽がないと老境に入ってから困るものだ。私は幼少のとき明倫館で詩作をならったことが、体が不自由になった今の生き甲斐となっている。なにか一つ趣味をもて」と訓言したそうです。

それから長い歳月を経て実際に絵を始めたのは45歳ごろ、たまたま乗りあわせた汽車の中で隣に座った老婦人の似顔絵を描いたところ、とても喜んでくれたことがきっかけになり、似顔絵やスケッチをするようになったそうです。

その後、義介は墨絵をはじめますが師匠につかず独自の練習法を編み出しました。その方法というのが、下図のように、



筆が自分の指先のように自在に使えるようになるまで何万回と描いた△○△

「正三角形をフリーハンドで描けるまで何回も描く。次に正三角形の内側にフリーハンドできれいな円を描けるまで練習する。その次に、今度は正三角形の外側にきれいな円を描けるように練習する。そうして納得のいく△○△が描けるようになったら絵を描く段階にすすむ」というものです。

独自の練習法を編み出すところは、一職工として下積み時代を過ごし、単身アメリカに渡り技術を学び帰り、小さな工場から大財閥を育んだ独立独歩の精神に通じているようです。

意外なつながり〜サビエル記念碑建立〜



昭和32年サビエル記念碑の前で記念写真。左から鮎川夫妻、その御嬢さん、右端が料亭菜香亭5代目主人齊藤清子。

鮎川義介は、料亭菜香亭の名付け親井上馨の姉の孫というつながりがあり、学生時代から菜香亭に来ています。下の写真は菜香亭に所蔵されているものです。

山口市金毘羅にある背の高いサビエル記念碑は、鮎川義介の多額の寄付で建立されました。このサビエル記念碑は、フランシスコ・サビエルが大内義隆に与えられた布教活動をした寺の位置を、ピリオン神父が特定して建てられたものです。

かつてピリオン神父から語学を学んだという原敬・加藤友三郎元首相をはじめ神父が知り合いに寄付を募ったところ、一万二千五百円集まりましたが、そのうち一万円は義介の寄付でした。少年の頃から慕っていたピリオン神父への信奉の深さが伺えます。

大正15年(1926)に落成式が行われました。そのときは総理・外務・内務・文部・司法各大臣が祝辞を寄せ、



同じ日の昭和32年に来亭したときの写真。前列に鮎川夫妻。後列左が齊藤清子、右が同4代目夫人齊藤アキ。

外国からはローマ法王使節やスペイン・フランス・イタリア・ポルトガル各国使節が参加し、世界的規模で大々的に行われたのでした。

鮎川義介も参列し、祝辞を読みました。さらに夜会は菜香亭で開かれ外国の貴賓客をもてなしました。

大内文化特定地域 探検クイズラリー マップ作りました!



菜香亭では、「子どもたちに地元歴史に親んでもらいたい」との思いで、大内文化特定地域の探検クイズラリーマップを作りました。

大内氏ゆかりの神社仏閣や明治維新の史跡をめぐる、10か所のクイズポイントで答えを探す楽しい内容です。

また、歴史にまつわるプチ情報をちりばめているので、思わず歩いてまわりたくなるマップになっています。

山口市は室町時代大内文化が華開いた町であり、幕末には明治維新策源地として幕末の志士が闊歩し、大きな時代の変化を産んだ場所です。町歩きを通して、山口の歴史を楽しんでいただきたいと思えます。子ども向けですが、大人も楽しめると思えます。ぜひ一緒に…。



クイズラリーを応援するイメージキャラクター「クイズモンスター」を10ポイント全問正解したら、レキモンが進化したレキモンマスターカードをプレゼントします!

東日本復興支援イベント 菜香亭福ふく寄席〜笑う門に花は咲く〜



江島屋凌さん、全国デビューを楽しみに!



江島屋凌太郎さん、期待の1年生。



喜劇病棟、パワフルに笑いを追求!

3月18日(土)に菜香亭大広間で寄席を開催しました。エンターテイメント集団突劇!?喜劇病棟のみなさんのコントや山口大学落語研究会の落語をお楽しみいただきました。

落語は、今春山口大学を卒業後、上京して落語家一門に入門するという江島屋凌さんによるもので、古典落語「花見の仇討ち」で会場のみなさんを魅了しました。

また、落語研究会1年生も古典落語「湯屋番」を熱演してくれました。この会をもって「江島屋凌太郎」と命名されました。

突劇!?喜劇病棟のみなさんは、復興支援と江島屋凌さんのはなむけにと若さ溢れる体をはったコントで会場を盛り上げてくれました。

県立大学手話サークルのみなさんは、復興支援ソング「花は咲く」を披露してくれました。サビのところは来場のみなさんといっしょに手話して歌い、温かい雰囲気になりました。

菜香亭では、東日本大震災の後、毎春復興支援イベントを行っています。今回ご来場のみなさまからいただいた支援金は、28,416円となりました。すべて「ふくしまこども寄附金」「山口東北人会」にお預けし、復興支援に活用していただきます。ご協力誠にありがとうございます。

県大手話サークル、さわやかに優しく